

開講年度・学期	2017年度・前期集中	授業形態	講義
科目名	政治過程論	科目ナンバー	JAPOL3303
英語表記	Theory of Political Process	担当教員	品田 裕
単位数	4		

### 科目の主題

投票行動・政治意識・政治参加・選挙制度などに関する理論的考察および実証的議論を行う。

### 授業の到達目標

この講義では、政治過程の中でも民主主義の政治システムへの入力部分に関する理論と実証分析を考察するとともに、戦後日本を主とする選挙政治への理解を深めることを目標とする。

### 授業内容・授業計画

第1回	はじめに ー選挙という仕組みー
第2回	はじめに ー選挙の機能と歴史ー
第3回	はじめに ー選挙研究の概要ー
第4回	候補者志向 ー個人集票組織(地縁)ー
第5回	候補者志向 ー個人集票組織(団体)ー
第6回	候補者志向 ー個人集票組織(後援会)ー
第7回	候補者志向 ー地元利益志向ー
第8回	政党支持 ー社会集団モデルー
第9回	政党支持 ー日本の政党と社会集団ー
第10回	政党支持 ー政党帰属意識モデルー
第11回	政党支持 ー日本における政党支持ー
第12回	〈中間まとめ1 ー戦後日本の選挙政治ー〉
第13回	政策争点志向 ー政策争点と投票行動ー
第14回	政策争点志向 ー合理的選択ー
第15回	政策争点志向 ー合理的選択に基づく諸モデルー
第16回	政策争点志向 ーイデオロギーー
第17回	政策争点志向 ー価値観ー
第18回	政策争点志向 ー業績評価ー
第19回	〈中間まとめ2 ー現代日本の政策空間ー〉
第20回	〈中間まとめ3 ー政治と選挙の現場ー〉
第21回	選挙制度 ー種類と分類ー
第22回	選挙制度 ー多数代表法ー
第23回	選挙制度 ー比例代表法の仕組みー
第24回	選挙制度 ー比例代表法の考え方ー
第25回	選挙制度 ー中選挙区制を考えるー

第 26 回	選挙制度 ―一票の較差―
第 27 回	選挙制度 ―投票参加―
第 28 回	選挙制度 ―有権者や政治家に与える影響―
第 29 回	選挙制度 ―政党システムとの関係―
第 30 回	〈総合まとめ ―選挙制度を設計する―〉

<進行状況等の事情により、計画を変更する可能性が若干あります。>

#### 事前・事後学習の内容

この授業は集中講義なので、毎日の予習・復習が極めて重要になる。事前に内容を確認し、事後には、講義内容を整理し、まとめておく等、理解を深めるよう努めること。

#### 評価方法

定期試験を主とし、授業への参加状況、提出物等を加味する。

#### 受講生へのコメント

通常の教室講義です。模擬的な調査などをなるべく取り入れたいと考えています。

#### 教材

レジュメ・参考資料を適宜配布する予定。教科書はなし、参考書としては、『投票行動』三宅一郎(東京大学出版会、現代政治学叢書5)、『現代の政党と選挙』川人貞史ほか(有斐閣)、上記以外の参考文献は、開講時に指示する。

#### その他

特になし

#### 履修可能最低年次

3年次生以上